

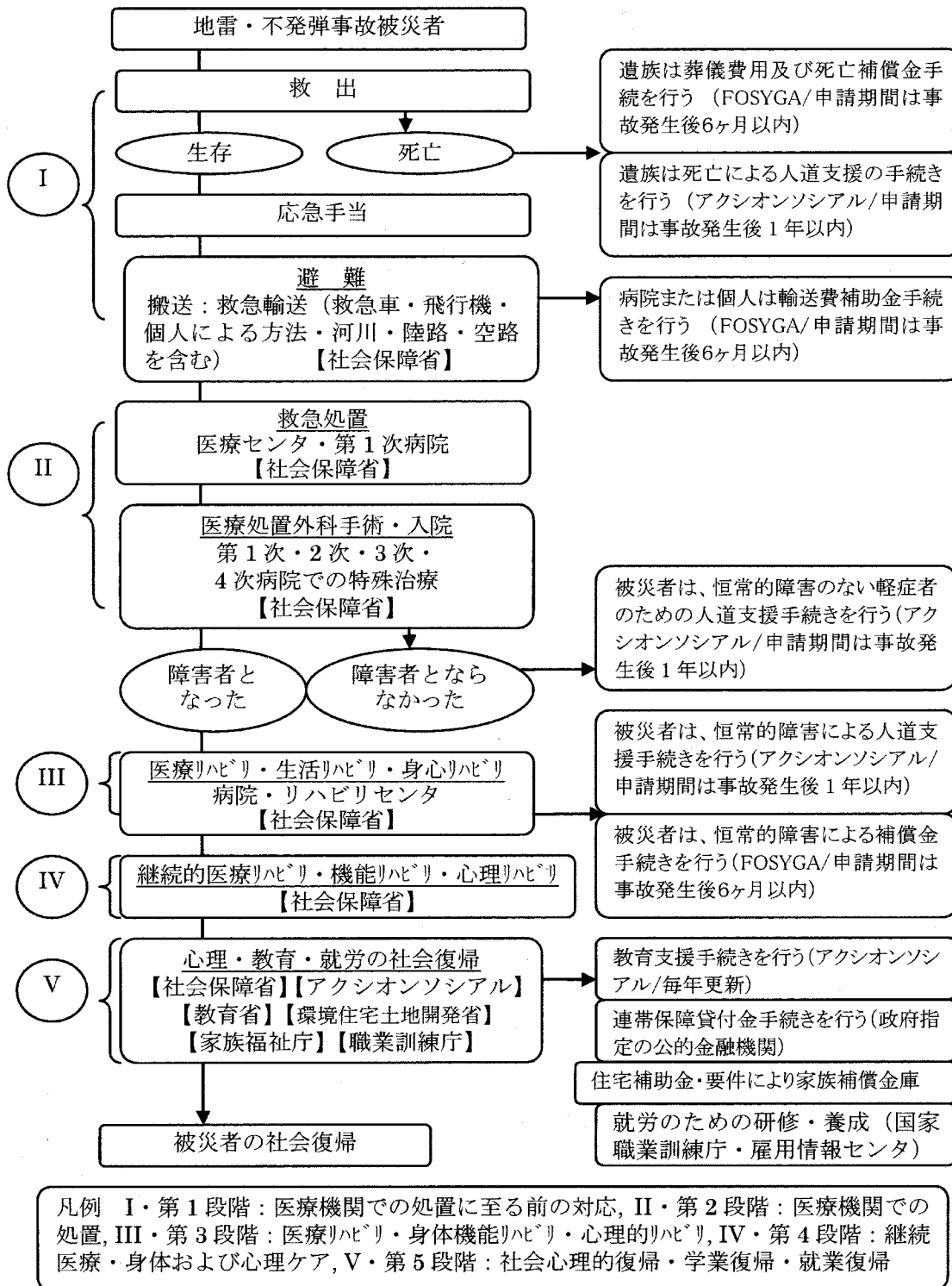
添 付 資 料

1. 連帯補償基金・アクションソシアル人道支援の厚生サービス
受給内容
2. 対象医療施設の組織体制
3. 対象医療施設の経営実績
4. 対象医療施設の専門職人材に関する補足情報（卒業大学・所
属学会）
5. 対象医療施設が有する診療手順・管理に関わる文書名一覧
6. 対象医療施設の診療費（一部）
7. プロジェクト・デザイン・マトリック（PDM-version 0）
（ミニッツ Annex 1）
8. 収集資料・参考資料一覧
9. 署名ミニッツ文書（英語・西語）コピー

1. 連帯補償基金・アクションソシアル人道支援の厚生サービス受給内容

出所:「地雷・不発弾被災者のための福祉手帳」 副大統領府大統領人権人道法プログラム, 地雷監視局, 社会保障省, ユニセフ, 国家オンブズマン, 国連開発計画 (発行年不詳・2006年頃) (抄訳)
 注: 翻訳に関し、支給内容と支援組織の説明にあわせ、一部加筆した。

(1) 地雷・不発弾被災者のためのケアフロー



(2) 対人地雷・不発弾被災者のための厚生サービス受給内容（保障と対応機関と申請に必要な書類）

受給内容	支援機関	必要提出書類
	<p>社会保障省－FOSYGA 申請期間:6ヶ月</p>	<p>Acción Social(社会団結ネットワーク) 申請期間:1年</p>
1. 医療対応センターまでの被災者の輸送補助金	<p>最高で、事故発生のに有効な法定最低賃金10日分まで認められる</p> <p>医療機関または、輸送を行った個人によって請求できる(陸上、河川、航空またはその他手段による輸送サービス)</p>	<p>該当なし</p> <p>法人(IPS): 1.事故発生 of 市長の証明書 2.被災者への医療対応証明書 3.申請書 FOSYGA-01 と FOSYGA-02 個人: 1. 事故発生 of 市長の証明書 2.被災者または家族により支払われたサービス領収書オリジナル 3.申請書 FOSYGA-03 4.身分証明書コピー、未成年者は出生登記書と両親の身分証明書コピー</p>
2. 医療対応、外科対応、病院での対応		<p>該当なし</p> <p>法人(IPS): 1.事故発生 of 市長の証明書 2.被災者への医療対応証明書 3.申請書 FOSYGA-01 と FOSYGA-02 個人: 被災者または家族が医療費を支払った場合のみ。 1. 事故発生 of 市長の証明書 2.支払いサービス領収書オリジナル 3.申請書 FOSYGA-03 4.身分証明書コピー、未成年者は出生登記書と両親の身分証明書コピー</p>
3. 身体的・心理的リハビリ	<p>専門機関では、被災者ができにかぎり自立し生活できるよう支援するため、無料であらゆるセラピーを行う。 最高で1年だが、医師の判断により、さらに6ヶ月。</p>	<p>該当なし</p> <p>法人(IPS): 1.事故発生 of 市長の証明書 2.被災者への対応証明書 3.申請書 FOSYGA-01、FOSYGA-02 個人: 被災者または家族が対応費用を支払った場合 1. 事故発生 of 市長の証明書 2.支払いサービス領収書オリジナル 3.申請書 FOSYGA-03 4.身分証明書コピー、未成年者は出生登記書と両親の身分証明書コピー</p>
4. 恒常的障害に対する補償金	<p>最高で、事故発生のに有効な法定最低賃金180日分まで認められる。</p> <p>障害割合(%)は、県の障害認定委員会が決定する。</p> <p>障害割合証明書は、被災者または家族が申請し、費用(法定最低賃金1日分)を支払う。</p>	<p>最高で、事故発生のに有効な法定最低賃金4ヶ月分まで認められる</p> <p>障害割合は、法廷医学法科学院または医療サービス提供会社(EPS)が定める。</p> <p>1.事故発生 of 市長の証明書 2.臨床履歴(カルテ)の写しか概要 3.被災者が年金基金や FOSYGA 職業リスク保険に加入していないことを証明する訴訟外目的の宣誓供述書 4. 身分証明書コピー、未成年者は出生登記書と両親の身分証明書コピー 5.当該当局により発行された、恒常的障害の割合に関する証明書 6.申請書 FOSYGA-03</p>
5. 死亡に対する補償金	<p>死亡が、MAP または MUSE による事故に起因する場合。</p> <p>現行の規則により、被災者に最も近い親族が申請する:子供、配偶者、または内縁関係者、ほかに親族がいない場合両親。</p>	<p>死亡が、MAP または MUSE による事故に起因する場合。</p> <p>現行の規則により、被災者に最も近い親族が申請する:子供、配偶者、または内縁関係者、ほかに親族がいない場合</p> <p>1.事故発生 of 市長の証明書 2.被災者が即死でなかった場合の臨床履歴(カルテ)概要 3.成年の場合身分証明書写しまたは国家戸籍登記局発行の身元証明書 4.公証役場または国家戸籍登記局により発行された被災者の死亡証明書。</p>

	最高で、事故発生の年に有効な法定最低賃金 600 日分まで認められる。	両親。 最高で、事故発生の年に有効な法定最低賃金 40 ヶ月分まで認められる。	DANE 発行のものは無効 5. 婚姻状況または血縁関係または被災者以外の必要書類(次表参照) 6. 申請書 FOSYGA-03 7. 社会団結ネットワークに対し公証人の面前で、唯一の裨益者であることを証言した表明書 8. 事件を記した新聞記事切り抜き(ある場合)ネットワークあて <u>第一裨益者の書類</u> 9. 身分証明書コピー 10. 被災者が年金基金・職業リスク保険に未加入の事を証明する第一裨益者による訴訟外目的の宣誓供述書
6. 葬儀費用	最高で、事故発生の年に有効な法定最低賃金 150 日分まで認められる。	該当なし	1. 事故発生の市長の証明書 2. 申請書 FOSYGA-03 3. 家族への支払いサービス領収書オリジナル。DIAN 要件を満たすこと。

受給内容	支援機関	必要提出書類
7. 物品の喪失または恒常的障害のない軽傷に対する支援	Acción Social	1. 事故発生の市長の証明書 2. 成年の場合、被災者の身分証明書コピー 3. 政治的暴力被災者総合対応プログラム宛ての事件記述・人的支援を要請する手紙 4. 事件を記した新聞記事切り抜き(ある場合)
	最高で、事故発生の年に有効な法定最低賃金 2 か月分まで認められる。	
8. 教育支援	Acción Social 教育省	1. 事故発生の市長の証明書 2. 成年の場合、被災者の身分証明書コピー 3. 学校所在県・市の名称、教育機関名、校長名、被災者またはその子の入学年を記した手紙 4. 被災者と血縁関係証明の子供の出生登記書
	被災者またはその子供に対して	
9. 社会利益住宅 (VIS: 貧困層のためのローコスト住宅) 補助金	環境住宅土地開発省	1. 事故発生の市長の証明書 2. 被災者の身分証明書コピー 3. 在住権にある中から被災者が選んだ家族補償金庫の申請書を記入の上で提出 4. 家族補償金庫が要求する他の書類を提出 5. 募集開始日から締め切り日までの間に書類を提出する
	家族補償金庫を通じ国家住宅基金の資金により、金銭援助(現行の法定最低賃金 135 か月分まで)、或いは土地提供、新規住宅取得、自己所有地での住宅建設、所有社会利益住宅の改善を、一度のみ提供。住宅改善または所有地への住宅建設の補助金を申請する場合を除き、住宅を所有する場合、補助金は提供されない。以前に INURBE、土地金融庁、軍住宅促進金庫、農業銀行補助金を受けた場合も提供されない。	
10. 被災児童の保護	コロンビア家族福祉庁	子の権利が、他の事項より優先される。 子が国家の保護を必要とする場合は、未成年問題判事、家族問題判事、または家族福祉庁の家族擁護官により対応要請が発行される。 未成年者が脆弱な状況にあることを見た、あるいは報告を受けた者は、家族福祉庁に保護を要請する義務がある。
	政治紛争被災者である全児童は国家により保護される権利を有する。以下 ICBF が支援する対応の代表例。 ・里親: 一時的保護で、ある家族に子供が預けられる。その家庭は子供に愛情と保護を与える義務がある。 ・保護センター: 子供の発達状況評価後、30 日間尊厳ある生活が保証され、学習活動、レクリエーション活動、心理療法を行う場と機会が与えられる。	
11. 職能養成	国家職業訓練庁	1. 事故発生の市長の証明書 2. 申請する養成の種類により国家職業訓練庁が事前に要求する教育・学歴要件証明 3. 被災者のリハビリを実施した専門職による証明書、うち障害評価・タイプを詳述すること。障害は申請する養成・就業による障害であってはならない。 4. 申請する養成種により、収入証明書の提出
	被災者の就労に便宜を図るため、ある専門技術について、技術、知識、訓練を行う能力開発。	

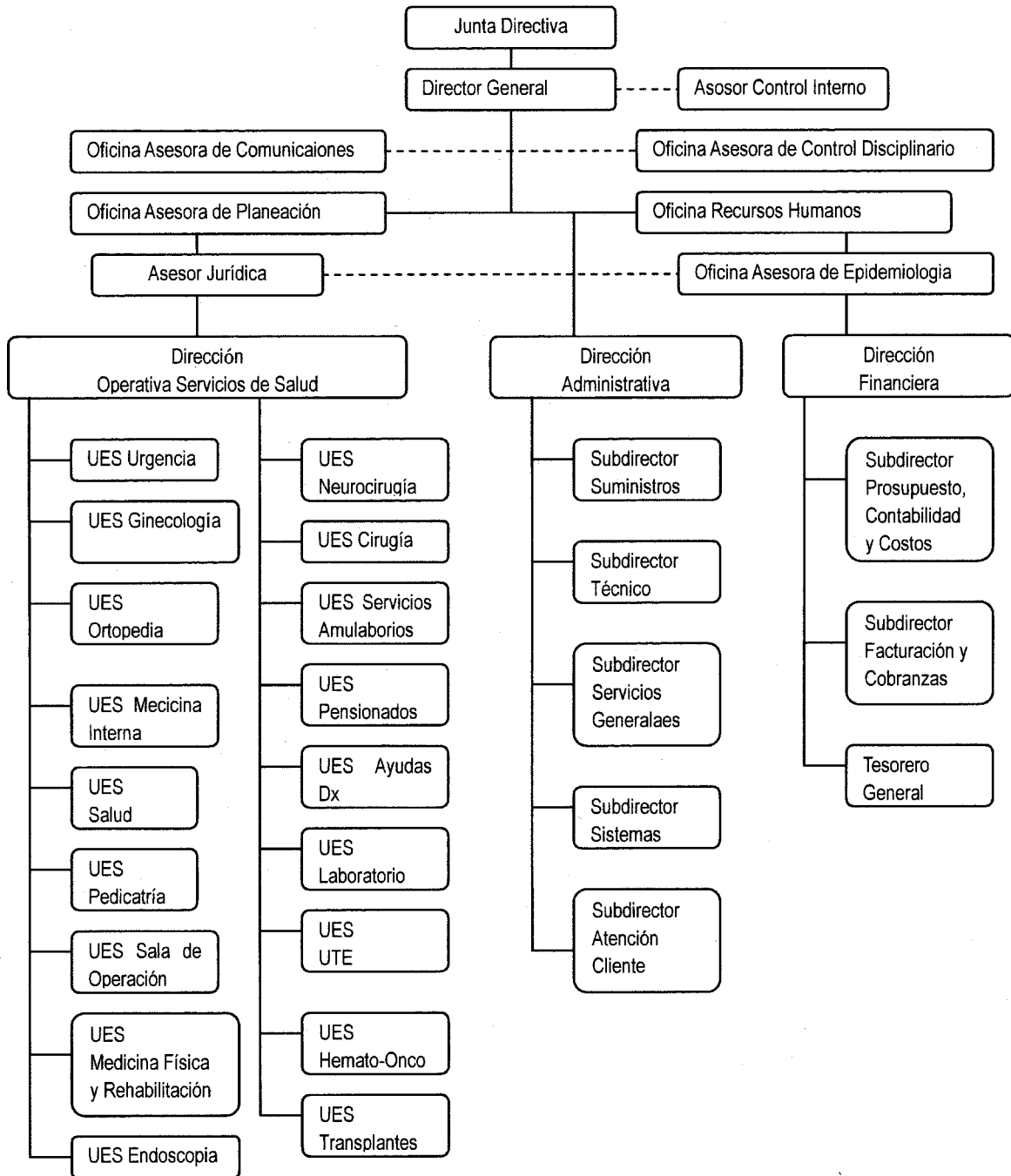
12. 雇用情報	国家職業訓練庁	
	国家職業訓練庁が行うサービスである。専門性や経験に応じて、求職者と就業先(求人先)のマッチング・斡旋支援を行う。ただし、国家職業訓練庁が、就職を保証することはできない。	1.必要な情報と登録を行える雇用情報センターに登録を行うこと。 2.履歴書の記入についてオリエンテーションを受け、面接のために提出する。

婚姻状態や血縁関係または非被災者により、死亡補償金を申請するためのその他必要書類

条件	社会保障省 FOSYGA	Acción Social (社会団結ネットワーク)
被災者が独身で子供がない場合	1.血縁関係証明のために出生登記書 2.補償金を受けるのが両親の場合、両親の婚姻登記書 3.被災者は独身で子供がなかったことを証明する、申請人による訴訟外目的の宣誓供述書2通	1.被災者の出生登記書、血縁関係の証明のため、両親の氏名が記載されているもの 2.被災者家族ではない者による訴訟外目的の宣誓供述書2通(被災者が独身で、配偶者または内縁関係の同伴者がなく、子供がないことを宣誓・証言するもの) 3.両親の身分証明書コピー(正本認証を受けたもの)、または両親のいずれかが死亡の場合には死亡登記書
被災者が既婚者で子供がない場合	1.婚姻登記書 2.被災者には子供がなかったことを証明する訴訟外目的の宣誓供述書2通	1.婚姻登記書 2.配偶者の身分証明書コピー 3.被災者家族や裨益者家族でない者による訴訟外目的の宣誓供述書2通(被災者が死亡時婚姻し、認知した・すべき子がないことを宣誓し証明するもの) 4.被災者の出生登記書、血縁関係の証明のため、両親の氏名が記載されているもの 5.被災者両親身分証明書コピー或いは死亡登記書
被災者は既婚者で子供がある場合	1.婚姻登記書 2.子供の出生登記書 3.被災者の全ての子供、申請人の配偶者、または場合によってはその他の同伴者を明らかにした訴訟外目的の宣誓供述書2通。被災者の子供が成年者である場合には、配偶者が子供の名前で補償金を受けることを認める委任状。	1.被災者の子の出生登記書、血縁関係の証明のため、両親の氏名が記載されているもの 2.成年者である子供の身分証明書コピー 3.子が未成年者の場合、生存配偶者の身分証明書コピー、または ICBF または該当する家庭裁判所により、子供を保護下に有する人物に与えられた親権書 4.婚姻登記書のコピー(正本であることを認証されたもの、教会の婚姻証明書は無効) 5.配偶者の身分証明書コピー(正本を認証されたもの) 6.被災者家族や裨益者家族でない者による訴訟外目的の宣誓供述書2通、被災者が死亡時婚姻し、認知・認知すべき子の数・氏名を宣誓・証明するもの
被災者は内縁関係があり、子供もある場合	1.被災者との共同生活を明らかにする訴訟外目的の宣誓供述書2通 2.子の出生登記書 3.被災者の全ての子、申請を行う同伴者またはその他の相手を明らかにした訴訟外目的の宣誓供述書2通 4.被災者の子が成年者である場合、同伴者が補償金を受けることを認める委任状。	1.被災者の子の出生登記書、血縁関係証明のため両親の氏名が記載されているもの 2.恒常的同伴者の身分証明書コピー(正本が認証されたもの) 3.成年者で子の身分証明書コピー 4.子が未成年者の場合、生存の父親/母親の身分証明書コピー、または ICBF か該当家庭裁判所により、子供を保護下に有する人物に与えられた親権書
申請人が子供である場合	1.両親の婚姻登記書または共同生活を証明する供述書 2.申請人であることの出生証明書 3.他の子供の名前でも申請する場合には、その他の子供の出生登記書 4.成年者であるその他の兄弟からの委任状 5.生存している親がある場合、生存する父親または母親の名前で申請する場合には、その人物による書面による認可	1.両親の婚姻登記書または共同生活を証明する供述書 2.申請人である子供の出生登記書 3.他の子供の名前でも申請する場合には、その他の子供の出生登記書 4.成年者であるその他の兄弟からの委任状 5.生存している親がある場合、生存する父親または母親の名前で申請する場合には、その人物による書面による認可

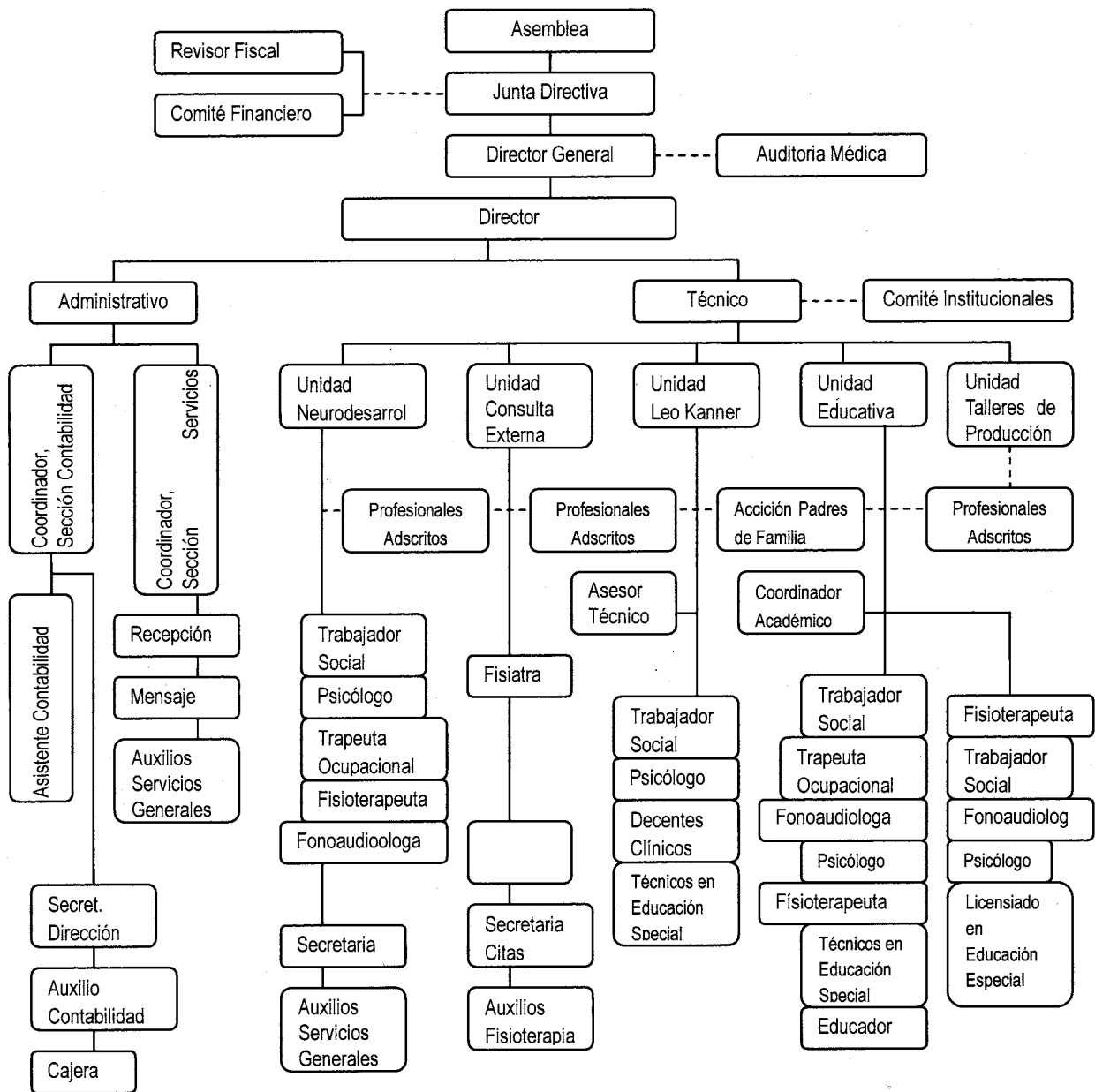
2. 対象医療施設の組織体制

図 バジエ大学病院組織体制



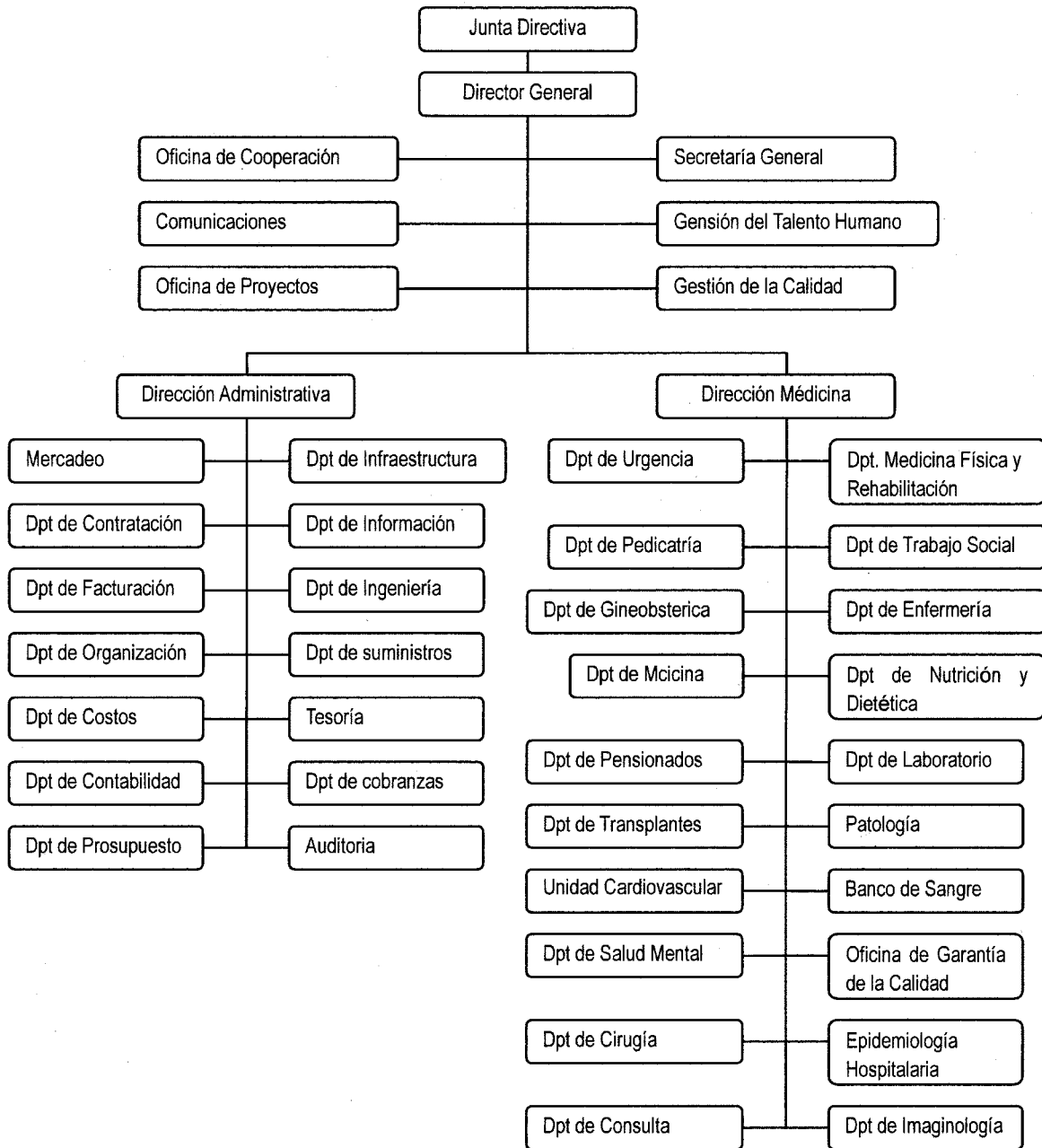
出所:質問紙票調査回答、2008年1月

図 フンダシオンイデアアル組織体制



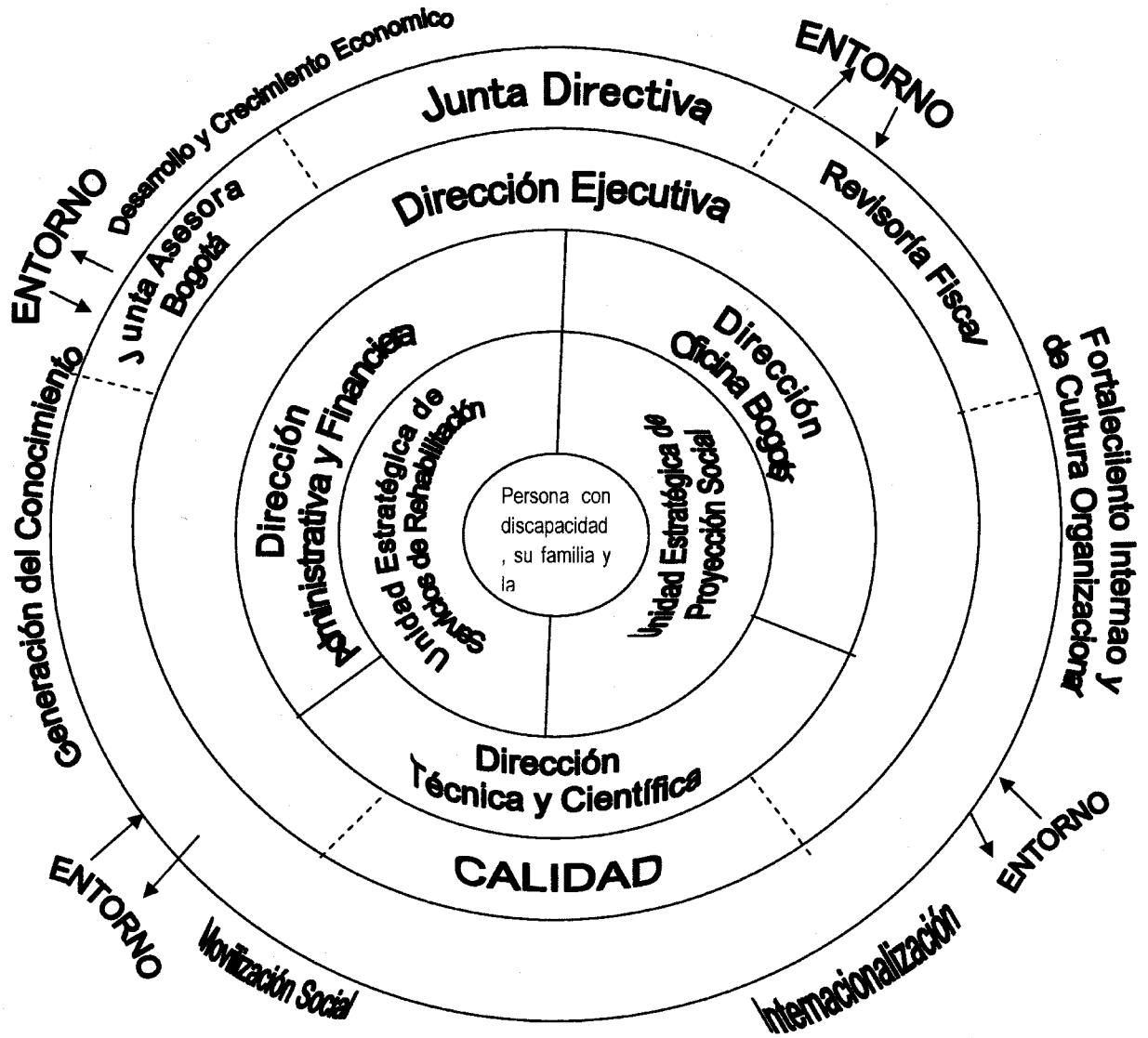
出所:質問紙票調査回答、2008年1月

図 サンビセンテデパウル大学病院組織体制



出所:質問紙票調査回答、2008年1月

図 アラスデヌエボ組織体制



出所:質問紙票調査回答、2008年1月

3. 対象医療施設の経営実績

(1) バジェ大学病院

表 損益計算書からみた 2007 年 9 月時の経営実績 (2006 年は年間、2007 年は 1~9 月)

(単位: 1,000 コロンビアペソ COP, レート: 1COP = 0.053 円 = US\$ 0.000543 米ドル)

	2006 年度 実績		2007 年度 実績		伸び率(%)
医業収益 (A)	101,152,668	US\$54,926	115,453,144	US\$62,691	14.14
医業費用 (B)	34,085,355	US\$18,508	56,986,687	US\$30,944	67.19
医業利益 (C) = (A-B)	67,067,313	US\$36,418	58,466,457	US\$31,747	-12.82
医業外損益(収支) (D) (販売および一般管理費)	65,649,319	US\$35,648	44,829,881	US\$24,343	
経常利益 (E) = (C-D)	1,417,994	US\$770	13,636,576	US\$7,405	
臨時損益(収支) (F)	1,042,500	US\$566	(4,880,103)	-US\$2,650	
原価償却前利益(G)=(E+F)	2,460,494	US\$1,336	8,756,473	US\$4,755	
原価償却調整 (H)	10,828,079	US\$5,880	0	US\$0	
純損益 (I) = (G+H)	13,288,573	US\$7,216	8,756,473	US\$4,755	

出所: 質問紙票調査回答、2008 年 1 月

注: () = マイナス

(2) サンビセンテデパウル大学病院

表 損益計算書からみた 2007 年 12 月時の経営実績 (2005 年 1~12 月、2006 年 1~12 月)

(単位: 1,000 コロンビアペソ COP, レート: 1COP = 0.053 円 = US\$ 0.000543 米ドル)

	2005 年度 実績		2006 年度 実績		伸び率(%)
医業収益 (A)	159,432,252	US\$86,572	179,124,240	US\$97,264	12.35
医業費用 (B)	117,078,398	US\$63,574	133,536,504	US\$72,510	14.06
医業利益 (C) = (A-B)	42,353,854	US\$22,998	45,587,736	US\$24,754	7.64
医業外損益(収支) (D) (販売および一般管理費)	30,915,579	US\$16,787	34,206,458	US\$18,574	
経常利益 (E) = (C-D)	11,438,275	US\$6,211	11,381,278	US\$6,180	
臨時損益(収支) (F)	9,981,648	US\$5,420	21,955,195	US\$11,922	
原価償却前利益(G)=(E+F)	21,419,923	US\$11,631	33,336,473	US\$18,102	
原価償却調整 (H)	(3,460,259)	(US\$1,879)	(3,763,313)	(US\$2,043)	
純損益 (I) = (G+H)	17,959,664	US\$9,752	29,573,160	US\$16,058	

出所: 質問紙票調査回答、2008 年 1 月

注: () = マイナス

(3) フンダシオンイデアル

表 損益計算書からみた 2007 年 10 月時の経営実績(2006 年 1~12 月、2007 年 1~10 月)

(単位: コロンビアペソ COP, レート: 1COP = 0.053 円 = US\$ 0.000543 米ドル)

	2006 年度 実績		2007 年度 実績		伸び率(%)
医業収益 (A)	1,133,106,563	US\$615,277	1,448,833,192	US\$786,716	27.86
医業費用 (B)	825,434,243	US\$448,211	921,809,725	US\$500,543	11.68
医業利益 (C) = (A-B)	307,672,320	US\$167,066	527,023,467	US\$286,174	71.29
医業外損益(収支) (D) (販売および一般管理費)	359,681,257	US\$195,307	443,481,665	US\$240,811	
経常利益 (E) = (C-D)	(52,008,937)	(US\$28,241)	83,541,802	US\$45,363	
臨時損益(収支) (F)	45,804,891	US\$24,872	(9,052,389)	-US\$4,915	
原価償却前利益(G)=(E+F)	(6,204,046)	(US\$3,369)	74,489,413	US\$40,448	
原価償却調整 (H)	3,403,128	US\$1,848	0	US\$0	
純損益 (I) = (G+H)	(9,607,174)	(US\$5,217)	74,489,413	US\$40,448	

出所: 質問紙票調査回答 2008 年 1 月

注: () = マイナス

(4) アラスデヌエボ

表 損益計算書からみた 2007 年 12 月時の経営実績 (2006 年 1~12 月、2007 年 1~10 月)

(単位: コロンビアペソ COP, レート: 1COP = 0.053 円 = US\$ 0.000543 米ドル)

	2006 年度 実績		2007 年度 実績		伸び率(%)
医業収益 (A)	4,403,936,263	US\$2,391,337	5,345,354,352	US\$2,902,527	21.38
医業費用 (B)	3,824,870,003	US\$2,076,904	4,183,733,170	US\$2,271,767	9.38
医業利益 (C) = (A-B)	579,066,260	US\$314,433	1,161,621,182	US\$630,760	100.60
医業外損益(収支) (D) (販売および一般管理費)	751,542,031	US\$408,087	949,107,442	US\$515,365	
経常利益 (E) = (C-D)	(172,475,771)	(US\$93,654)	212,513,740	US\$115,395	
臨時損益(収支) (F)	132,500,429	US\$71,948	1,256,829,024	US\$682,458	
原価償却前利益(G)=(E+F)	(39,975,342)	(US\$21,707)	1,469,342,764	US\$797,853	
原価償却調整 (H)	0	US\$0	0	US\$0	
純損益 (I) = (G+H)	(39,975,342)	(US\$21,707)	1,469,342,764	US\$797,853	

出所: 質問紙票調査回答 2008 年 1 月

注: () = マイナス

4. 対象医療施設の専門職人材に関する補足情報（卒業大学・所属学会）

(1) 質問紙表調査回答者の最終修了・卒業教育機関

1) バジエ大学病院(バジエ県)

リハビリ医師	Universidad de Valle(Valle del Cauca), Universidad de Costa Rica (Costa Rica)
整形・義肢装具医	Universidad de Valle(Valle del Cauca), Universidad Militar Nueva-Granada (Bogota), Universidad del Cauca(Cauca)
精神科医	Universidad de Valle(Valle del Cauca), University of Illinois(Chicago, USA)
眼科医	University of Miami (Miami, USA)
理学療法士	Universidad de Rosaio(Bogota), Universidad de Valle(Valle del Cauca)
作業療法士	Universidad de Valle(Valle del Cauca), Universidad Auburn de Manizales
言語聴覚士	Universidad de Valle (Valle del Cauca), Pontifica Unversidad Javeriana (Bogota)
呼吸器療法士	Universidad de Santiago de Cali (Valle del Cauca), Universidad de Valle (Valle del Cauca)

2) サンビセンテデパウル大学病院(アンティオキア県)

リハビリ医師	Universidad Pontificia Bolivariana(Antioquia), Pontifica Unversidad Javeriana (Bogota), Universidad el Bosque (Bogota), Unversidad de Antioquia (Antioquia), Universidad Militar Nueva-Granada (Bogota),
理学療法士	Universidad Nacional de Colombia (Bogota), Unversidad Metropolitana (Atlantico), Universidad de Antioquia (Antioquia), Universidad de Valle (Valle del Cauca), Fundación Universitaria Maria Cano(Valle del Cauca),
作業療法士	Institut Guttman Barcelona (Spain), Universidad Pedagógica Nacional (Bogota), Universidad Nacional de Colombia (Bogota),
言語聴覚士	Unversidad Iberoamericana (Bogota), Corporación Universitaria Iberoamericana (Bogota)
呼吸器療法士	Fundación (Universidad) Autonoma de la America (Antioquia)
臨床心理士	Universidad San Buenaventua (Antioquia)
ソーシャルワーカー	Universidad Pontificia Bolivariana(Antioquia)
特殊教育専門員	Universidad Pedagógica Nacional (Bogota)

3) フンダシオンイデアル(バジエ県)

リハビリ医師	Universidad de Valle (Valle del Cauca)
整形・義肢装具医	Universidad de Valle (Valle del Cauca), Unversidad Don Bosco del Salvador (El Salvador), Universidad Icesi (Valle del Cauca),
理学療法士	Universidad Autonoma de Manizales (Antioquia), Fundación Universitaria Maria Cano(Valle del Cauca), Universidad Nacional de Colombia (Bogota), Escuela Nacional de Deporte Fisioterapia (Valle del Cauca)
作業療法士	Universidad de Valle (Valle del Cauca)
言語聴覚士	Universidad de Valle (Valle del Cauca), Universidad Santiago de Cali (Valle del Cauca)
臨床心理士	Universidad de Javeranca (Valle del Cauca)
ソーシャルワーカー	Universidad de Salamanca (Spain)

4) アラスデヌエボ(アンティオキア県)

リハビリ医師	Hospital Militar Central, Escuela de Medicina Juan N. Corpos
理学療法士	Fundación Universitaria Maria Cano(Valle del Cauca), Unversidad de CES (Antioquia)
作業療法士	Ocupación Universitario de Santander (Norte de Santander), Universidad de Mariana (Nariño), Fundación Universitaria Maria Cano(Valle del Cauca), Universidad de Valle (Valle del Cauca)
言語聴覚士	Fundación Universitaria Maria Cano(Valle del Cauca)
臨床心理士	Universidad Pontificia Bolivariana(Antioquia), Unversidad de CES (Antioquia), Universidad de Antioquia (Antioquia)
ソーシャルワーカー	Universidad Pontificia Bolivariana(Antioquia), Universidad de Antioquia (Antioquia)
特殊教育専門員	Tecnológico de Antioquia (Antioquia), Universidad de Antioquia (Antioquia), Fundación Universitaria de Luis Amigo (Antioquia)

出所: 質問紙表調査回答 2008 年 1 月

(2) 質問紙表調査回答者の所属学会

1) バジエ大学病院(バジエ県)

リハビリ医師	Asociación Colombiana de Medicina Física y Rehabilitación (ASCMF & R)
	Asociación Colombiana para el Estudio del Dolor (ACED)
	Sociedad Internacional de Medicina Física y Rehabilitación (ISPRM)
	Asociación Colombiana de Medicina Física y Rehabilitación
	Sociedad Internacional de Electrodiagnóstico
整形・補装具医	Sociedad Americana (más bien Norteamericana!) de Ortopedia (AAOS)
	American Orthopaedic Foot & Ankle Society (AOFAS)
	American Orthopedic International
	Asociación de Trastorno Obsesivo-Compulsivo.
	-Sociedad Colombiana de Cirugía Ortopédica y Traumatología (SCCOT)
	"Foot and Ankle Expert group" of the AO Technical Commission (AOFAEG)
	Asociación Colombiana de Cirugía de la Mano
Capitulo de Cirugía Artroscopica de la Sociedad Colombiana de Ortopedia y Traumatología	
精神科医	Sociedad Colombiana de Psiquiatria
	Asociación Americana de Psiquiatria
	Asociación Internatcional de Neuropsiquiatria
眼科医	Sociedad Colombiana de Oftalmologia
	Grupo Colombiano de Trabajo en Glaucoma
理学療法士	Asociación Colombiana de Fisioterapia

2) サンビセンテデパウル大学病院(アンティオキア県)

リハビリ医師	Sociedad Colombiana de Medicina Física y Rehabilitación
	Asociación Colombiana Medicina Física y Rehabilitación
	Asociación Colombiana para el Estudio del Dolor (ACED)
	Sociedad Antioqueña de Medicina Física y Rehabilitación
理学療法士	Asociación Colombiana de Fisioterapia
	Grupo de Demografía y Salud de la Facultad Nacional de Salud Pública de la Universidad de Antioquia
作業療法士	Asociación Colombiana de Facultades de Terapia Ocupacional

3) フンダシオンイデアアル(バジエ県)

リハビリ医師	Asociación Colombiana de Medicina Física y Rehabilitación
整形・補装具医	Sociedad Colombiana en Traumatologia y Ortopedia
	Asociación Colombiana de Ortesis y Protésistas
作業療法士	Asociación Colombiana de Terapia Ocupacional
言語聴覚士	Asociación Colombiana de Fonoaudiología y Terapia del Lenguaje
ソーシャルワーカー	Linea de Investigación de RBC

4) アラスデヌエボ(アンティオキア県)

リハビリ医師	Sociedad Colombiana de Medicina Física y Rehabilitación
--------	---

出所: 質問紙表調査回答、2008年1月

注: 回答のあった専門職で学会が言及されていない者は「所属なし」を意味する。

5. 対象医療施設が有する診療手順・管理に関わる文書名一覧

出所：各施設からの質問紙表調査回答 2008年1月

■ バジエ大学病院

1. Guía de Manejo Clínico para Rehabilitación de pacientes amputados en extremidad superior.
2. Guía de Manejo Clínico para Rehabilitación de pacientes amputados en extremidad inferior.
3. Guía de Manejo en Fisioterapia en amputación de Miembro Superior.
4. Guía de Manejo en Fisioterapia en amputación de Miembro Inferior.
5. Guía de Manejo en Terapia Ocupacional de amputación de Miembro Superior o inferior fase preprotésica.
6. Guía de Manejo en Terapia Ocupacional de amputación de Miembro Superior fase protésica

■ フンダシオンイデアール

1. Guía de Manejo: Síndrome Poscontusional o Trauma Craneoencefálico (Área de Terapia Ocupacional: Manual Único de Habilitación Estándar Proceso Asistencial Prioritario)

■ サンビセンテデパウル大学病院

1. Guía de rehabilitación en pacientes con lesión de tejidos blandos.

EXTREMIDAD SUPERIOR 上肢

1. Guía de rehabilitación en pacientes con problemas del manguito rotador.
2. Guía de rehabilitación para pacientes con lesiones del plexo braquial.
3. Guía de rehabilitación en la reparación de las lesiones de tendones extensores de la mano.
4. Guía para la atención de pacientes con lesiones de tendones flexores.
5. Guía de rehabilitación para pacientes con amputación de la extremidad superior.
6. Guía de rehabilitación para pacientes con trauma óseo de la extremidad superior.
7. Guía de indicaciones generales de las ortesis en rehabilitación.

EXTREMIDAD INFERIOR 下肢

1. Guía de rehabilitación en pacientes con lesiones óseas de extremidades inferiores.
2. Guía de rehabilitación en pacientes con lesión del ligamento cruzado anterior.
3. Guía de rehabilitación en pacientes con amputación de la extremidad inferior.

REHABILITACIÓN CARDIACA 心臓科

1. Guía de rehabilitación para pacientes trasplantados.
2. Guía de rehabilitación para pacientes con falla cardíaca.
3. Guía de rehabilitación para la atención de pacientes con infarto agudo de miocardio (IAM).
4. Guía de rehabilitación para código azul.

ONCOLOGÍA 腫瘍科

1. Guía de rehabilitación para la atención de pacientes con síndrome de compresión medular por cáncer.
2. Guía para la atención de pacientes con neuropatías asociadas a malignidad.
3. Guía de rehabilitación en pacientes con tumores óseos.
4. Guía de rehabilitación en pacientes con cáncer de cabeza y cuello.
5. Guía de rehabilitación en pacientes con cáncer de seno.
6. Guía de rehabilitación en pacientes con tumores del sistema nervioso central (SNC).
7. Guía de rehabilitación en pacientes con enfermedad ósea metastásica.
8. Guía de rehabilitación en pacientes terminales con tratamiento paliativo.

NEUROLÓGICO 神経科

1. Guía de rehabilitación para la atención de pacientes con lesión medular.
2. Guía de rehabilitación para la atención de pacientes con lesiones del sistema nervioso central (SNC).
3. Guía de rehabilitación para la atención de pacientes hemipléjicos.

PACIENTE PEDIÁTRICO 小児科

1. Guía de rehabilitación para la atención de pacientes con parálisis cerebral infantil (PCI).
2. Guía de habilitación y rehabilitación en niños atendidos en la unidad de neonatología.
3. Guía para la atención del paciente quemado.

ENFERMERÍA 看護

1. Guía de rehabilitación en pacientes que requieren venopunción.
2. Guía de rehabilitación para pacientes con sonda vesical permanente.
3. Guía de rehabilitación en pacientes con vejiga neurogénica.
4. Guía de rehabilitación en pacientes con intestino neurogénico.
5. Guía de rehabilitación en pacientes con úlceras por presión.

VÍA AÉREA 分野別

1. Guía de medición del neumotaponador.
2. Guía de Aerosolterapia.
3. Guía de cuidados de la traqueostomía.
4. Guía de ejercicios respiratorios.
5. Guía de toma de muestras bronquiales.
6. Guía de aspiración de secreciones.
7. Guía de fisioterapia del tórax.

■ アラスデヌエボ

アラスデヌエボからは文書名ではなく、以下の説明のみ提出された。

「社会保障省によるクオリティコントロールシステムの基準による、当施設(アラスデヌエボ)で多く扱う疾病種についての診療手順書を所有している。切断障害については、当施設において患者割合が少ない疾病種であるため、専用の処置手順書に類する文書は所有していない。」

6. 対象医療施設の診療報酬 (一部)

出所：各施設からの質問紙表調査回答 2008 年 1 月

注：貨幣単位 コロンビアペソ COP, レート: 1COP = 0.053 円 = US\$ 0.000543 米ドル

■ バジエ大学病院

医療サービス種	基本診療費	米ドル概算
Consulta medica especializada ambulatorio 外来診察	26,600	US\$14
Fisioterapia 理学療法	11,800	US\$6
Terapia Ocupacional 作業療法	11,800	US\$6
Terapia de Lenguaje 言語療法	11,800	US\$6
Terapia Respiratoria 呼吸療法	11,800	US\$6
Rehabilitación cardiaca 心臓疾患リハビリ	31,200	US\$17

■ フンダシオンイデアール

DESCRIPCION	基本診療費	米ドル概算
Consulta de medicina Física y Rehabilitación 外来リハビリ治療診察	25,000	US\$14
Consulta Ortopedia 整形外科診察	25,000	US\$14
Terapia Ocupacional (session) 作業療法	13,500	US\$7
Terapia Física (session) 理学療法	13,500	US\$7
Terapia de Lenguaje (session) 言語療法	13,500	US\$7
Psicología 心理カウンセリング	15,000	US\$8

■ サンビセンテデパウル大学病院

	基本診療費	米ドル概算
Consulta 外来診察	40,000	US\$22
Interconsulta 院内診察	29,400	US\$16
Terapia Física 理学療法	11,800	US\$6
Terapia Ocupacional 作業療法	11,800	US\$6
Terapia de Lenguaje 言語療法	11,800	US\$6
Terapia Respiratoria 呼吸療法	11,800	US\$6
Psicología 心理カウンセリング	12,600	US\$7
Monitoreo de la rehabilitación cardiaca 心臓疾患リハビリモニタリング	31,200	US\$17

■ アラスデヌエボ

	基本診療費	米ドル概算
Consulta de Fisiatría 外来リハビリ治療診察	30,000	US\$16
Terapia Física 理学療法	12,700	US\$7
Terapia Ocupacional 作業療法	12,700	US\$7
Terapia de Lenguaje 言語療法	12,700	US\$7
Psicología 心理カウンセリング	12,700	US\$7

7. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM-version 0)

名称:コロンビア国・地雷被災者を含む障害者総合リハビリテーションシステム強化、協力期間:2008年7月-2012年6月(4年間)
 プロジェクトサイト:アンティオキア県、バジェ県
 ターゲットグループ:バジェ大学病院、フンダシオンイデアル、サンビセンテデバウル病院、アラスデスエボ、Antioquia 県、Valle del Cauca 県及び対象病院とレファラル関係にある対象医療機関(IPS)、応急処置ファシリテーター及びプロモーター、最終裨益者:地雷被災者を中心とした身体障害者と家族(Antioquia 県、Valle del Cauca 県、コロンビア南西部)

プロジェクトの要約	指標	指標のデータ入手手段	外部条件
<p>[上位目標](2017年あたり)</p> <p>対象県と他県において、対人地雷・不発弾被災者を中心とした障害者に提供される、総合リハビリテーションシステムの質が向上する。</p>	<p>指標</p> <p>a) チームリハビリテーション技術を導入した医療サービス提供施設 (IPS)。 b) リハビリテーション総合計画票・診療手順書(プロトコル)を導入した医療サービス提供施設(IPS)。 c) 地雷被災者のうち機能リハビリテーションサービスを受けた割合(%)。</p>	<p>a) 県保健局、病院への調査 b) 県保健局、病院への調査 c) 県保健局、病院への調査、地雷監視局管理の情報</p>	<p>外部条件</p>
<p>[プロジェクト目標][2012年]</p> <p>バジェ県およびアンティオキア県において、対人地雷・不発弾被災者を中心とした障害者に提供される、総合リハビリテーションシステム(注1)の質が改善する。</p>	<p>a) リハビリテーション総合実施計画票と診療手順書(プロトコル)に基づいたリハビリテーション治療実施状況 b) 対象病院で導入技術のリハビリテーションを受ける/受けた患者の日常生活活動(ADL)^[注2]の向上程度 c) 対象地域の地雷被災者のうち、リハビリテーションを受けた割合(%) d) FOSYGA その他の公的医療保険を活用してリハビリを受けた地雷被災者の割合(%) e) 損傷部を感染した地雷被災者のうちで、感染に起因した二次障害を負った被災者の割合(%)。</p>	<p>a) プロジェクト進捗報告書、日本・チリ人専門家と専門職チームへのインタビュー b) プロジェクト進捗報告書、各対象病院での効果測定結果資料、(元)患者へのインタビュー。 c) プロジェクト進捗報告書、地雷被災者・家族、PAICMA, 県保健局 (SDSV, SDSA)へのインタビュー。 d) 県保健局 (SDSV,SDSA) HUV, HUSVP, Fundacion IDEAL, adn alas de nuevo, 第1・2次病院への質問表調査。 e) 地雷被災者に初期治療を行った対象病院へのインタビュー、対象リハビリ専門職へのインタビュー。</p>	<p>中央レベルで、包括的リハビリテーションのサービス内容の標準化政策と基準整備の方針が、維持される</p>

[注1] 本プロジェクト活動は「総合リハビリテーションシステム」概念のうち被災者の損傷部の感染削減や二次障害予防の応急処置、機能回復と再建をできる限り可能とする救急医療、日常生活活動向上のための補装具提供と機能リハビリテーション、地域や在宅での継続的な機能リハビリテーションとこれらサービスアクセス環境に焦点を当てる。

[注2] 日常生活活動 ADL (Activities of daily living / Actividades de Vida Diaria): ①整容、②食事、③用便、④更衣、⑤入浴、⑥移動など、日常生活の基本活動。

<p>[成果]</p> <p>1. 対象施設（対象の第3次・2次・1次医療施設）における、専門職人材の機能回復リハビリテーション治療技術^(注3)の能力が育成される。</p> <p>2. リハビリテーション専門職チームが活用する文書が整備される。</p> <p>3. 地雷・不発弾被災者の、リハビリテーションサービスへのアクセスビリティが向上する。</p> <p>4. 地域において感染低減・二次障害予防のための応急手当の知識が広まる。</p>	<p>1.a) 研修を受講した専門職人材の技術理解度。 1.b) 研修を受講した1・2・3次病院の技術理解度。</p> <p>2.a) 「リハビリテーション総合実施計画票」と「診療手順書(プロトコル)」を活用している対象医療施設の割合(%)</p> <p>2.b) 対象医療施設(3次から1次)の専門職及び医療従事者における、「リハビリテーション総合実施計画票」と「診療手順書(プロトコル)」内容の理解度</p> <p>3.a) 地雷被災者のリハビリテーションに活用可能な社会保障・医療保険・基金・人道支援情報を取りまとめた文書。</p> <p>3.b) 広報が実施され、関る権利と義務の知識を得た対象地病院・住民人口。</p> <p>3.c) FOSYGA 基金, Acción Social 人道支援基金を認知している、対象医療施設の割合(%), 被災障害者・家族の割合(%)。</p> <p>4.a) 育成された応急手当ファシリテータ、プロモータ 4.b) 応急手当講習の実施地域と受講者数 4.c) 講習受講者の応急手当の目的と方法の理解</p>	<p>1.a) 日本人・チリ人専門家、及び研修指導者の評価結果。 1.b) 日本人・チリ人専門家、及び研修指導者の評価結果。</p> <p>2.a) プロジェクト活動進捗報告書</p> <p>2.b) 第1・2次病院へのインタビュ。</p> <p>3.a) 作成文書レビュー</p> <p>3.b) プロジェクト活動進捗報告書</p> <p>3.c) サンプルによる地域医療施設、地雷被災者とその家族へのアンケート調査</p> <p>4.a) プロジェクト活動進捗報告書、応急処置マスタープロモータとプロモータへのインタビュ。 4.b) プロジェクト活動進捗報告書、 4.c) 総合リハビリ・プロモータへのインタビュ、応急処置プロモータへのインタビュ</p>	<p>対象県政府が、障害者のための、及び本プロジェクト展開の(リハビリテーション)サービス強化のための支援政策を維持する</p>
--	---	---	--

(注3) ここで意味する機能回復リハビリテーション治療の主な対象は、切断患者・視覚障害者などを含み、高次脳機能障害の患者を含まない。

【活動】	〔投入〕	〔投入〕	プロジェクト実施関係者のモチベーションとコミットメントが維持される。
<p>【成果1: 専門職の能力育成】</p> <p>1.1 リハビリテーション専門職の訓練ニーズを特定する。</p> <p>1.2 HUV, FI, HUSVP, ADNの専門職を対象として研修（チームリハビリテーション、視覚障害リハビリテーション処置技術、義肢装具適合判定技術など）を行う。（コロンビア国内、日本、チリ）</p> <p>1.3 選定された第1・2・3次医療施設の専門職を対象として、チームリハビリテーション、機能回復・再建率を高める救急処置法についての研修を行う。</p> <p>1.4 障害者ニーズに応じ、老朽・不適化したリハビリ機材のアップグレードを行い、機材活用研修を実施する。</p> <p>1.5 プロジェクトで医療リハサービズを受ける患者の、日常生活活動へのリハ効果測定を、定期的に実施する。</p>	<p>〔投入〕</p> <p>【日本/JICA 側】</p> <p>(1) 人材</p> <p>【技術・運営管理人材】</p> <p>以下の日本人長期専門家 3名（計6年）</p> <p>1) チーフアドバイザー/総合リハビリテーション</p> <p>2) 業務調整</p> <p>3) 公衆衛生</p> <p>【専門技術人材】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 必要分野への日本人短期専門家 - 必要分野へのチリ人短期専門家 <p>(2) 本邦・チリ国研修実施と経費（以下分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームリハビリテーション ・視覚障害者リハビリテーション治療 ・義肢装具製作・適合判定技術 <p>(3) 以下経費</p> <ul style="list-style-type: none"> - 研修経費 - 文書開発経費（コピー用紙・印刷代含む） - 広報ツール作成経費（コピー用紙代含む） - 広報活動経費 - リハビリテーション機材 - セミナー・ワークショップ実施経費、調査経費、など。 <p>■ チリ側（経費は JICA 負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) チリ国国際協力庁、チリ保健省の協力 - 上記チリ人専門家の派遣 - チリでの研修実施 	<p>〔投入〕</p> <p>【コロンビア側】</p> <p>(1) 人材</p> <p>【運営管理人材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトダイレクター (PAICMA) ・障害者医療政策技術支援 (MPS) ・アンティオキア県プロジェクトマネージャ (アンティオキア保健局) ・バジェ県プロジェクトマネージャ (アンティオキア保健局) <p>【専門技術人材】</p> <p>以下組織で、必要分野の人材。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① PAICMA ② DGPS-MPS ③ SDSV ④ SDSA ⑤ HUV ⑥ ファンダシオンイデアール ⑦ HUSVP ⑧ アラスデスエボ <p>(2) 以下の経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロンビア側各人材の給与（各組織が負担） ・JCC, JSC, SC 出席のための交通費・日当 ・その他、必要な経費 <p>(3) 施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト活動に活用される施設 ・日本人・チリ人専門家執務室 	<p>プロジェクト実施関係者のモチベーションとコミットメントが維持される。</p> <p>大統領府プログラム及び社会保障省が、プロジェクト展開において必要なフォローアップと技術支援を行う。</p> <p>対人地雷・不発弾被災者の政策課題に対するチリ政府の協力支援の意向が維持される。</p>
<p>【成果2: 有効な文書の整備】</p> <p>2.1 対象病院における既存のリハビリテーションに係る診療手順書（プロトコル）をレビューし、文書アップグレードのニーズを分析する。</p> <p>2.2 コロンビア人専門職チームを対象とし、地雷・不発弾被災者を中心としたリハビリテーション総合実施計画票、診療手順書（プロトコル）の作成にかかわる研修を行う。</p> <p>2.3 リハビリテーション総合計画票と、診療手順書（プロトコル）の作成を行う。（CIF 分類に基づき、EBM 方針を導入したもの）</p> <p>2.4 作成したリハビリテーション総合実施計画票、診療手順書（プロトコル）を用いて、リハビリテーション診療を実施し、書式や内容の必要なアップグレードを行</p>			

う。
2.5 対象の第1・2 次病院を対象としたセミナーを定期的に開催し、リハビリテーション総合計画票と診療手順書(プロトコル)を配布し、活用方法の説明を行う。

【成果3:リハビリサービスアクセスの向上】

- 3.1 地雷・不発弾被災者が活用可能な、リハビリテーション医療に適用される社会保障・医療保険・基金について調査し、情報をとりまとめる。
- 3.2 上 3.1 の情報の戦略(広報ツール、広報対象地域、人材) を策定する。
- 3.3 上 ツールを用いて地域医療施設・地域役場へ広報を行い、これに係る義務を周知させる。
- 3.4 上 ツールを用いて被災者と家族を含む一般市民へ定期的に広報し、彼らの権利を周知させる。
- 3.5 対象県の地雷被災者の医療サービスアクセス現状を調査し、アクセス環境の課題を抽出し、関係者とともにアクセス向上のための戦略を策定する。

【成果4:応急手当知識の普及】

- 4.1 応急手当知識普及の、対象地域を特定し、普及スケジュールと人材計画を策定する。
- 4.2 応急手当ファシリテータ【注4】とプロモーターの候補者を選定する。
- 4.3 選定されたファシリテータに感染低減・二次障害予防の応急手当知識研修を行う。
- 4.4 ファシリテータにより、応急処置プロモータへ応急手当講習を実施する。
- 4.5 応急処置プロモータにより、対象地域へ応急手当セミナーを定期的に実施する。

【注4】 ファシリテータ(facilitators / facilitadores) は、プロモータを育成するマスタープロモータを意味する

[前提条件]
チリ政府がプロジェクト実施とマネージメントへの支援を約束する。

8. 収集資料・参考資料一覧

I. 質問紙表調査回答・インタビュー調査回答

- (1) 副大統領府対人地雷総合アクション大統領プログラム事務所
- (2) 社会保障省
- (3) バジエ県保健局
- (4) アンティオキア県保健局
- (5) バジエ大学病院
- (6) サンビセンテデパウル大学病院
- (7) フンダシオンイデア
- (8) アラスデヌエボ
- (9) コロンビア総合リハビリテーションセンター(CIREC)
- (10) 国家職業訓練庁(SENA)
- (11) ハンディキャップインターナショナル (HI)
- (12) 各保健医療施設での障害者患者へのヒアリング結果
- (13) 欧州連合 (EU) との面談記録
- (14) カンパーニャコロンビア及び生存被災者ネットワークとの面談記録

II. 収集資料

- (1) 副大統領府対人地雷総合アクション大統領プログラム
 - 1) “ *Asistencia Víctimas de Minas Antipersonal y Municiones sin Explotar: Cardilla de Beneficios para Víctimas de MAP y MUSE* ” (地雷・不発弾被災者支援: 福祉のしおり・一部和訳あり)
 - 2) “ *Situación por MAP y MUSE en Colombia 1990- 15 Enero 2008, Estadísticas Sistema de Información- IMSMA* ”
- (2) 社会保障省
 - 1) 公開討論会 “ *Así Vamos en Salud* ” PPT 資料, 2007 年 10 月
 - 2) “ *Plan Nacional de Salud Pública 2007-2010 (Decreto numero 3039)* ”, Ministerio de Protección Social, agosto 2007
 - 3) “ *CONPES 80 / 2004* ”, Ministerio de Protección Social, agosto 2004
- (3) バジエ県保健局

“ *Banco de Ayudas Técnicas para el Valle del Cauca*”, Banco de Ayudas Técnicas del Departamento del Valle del Cauca, Marzo 2007 (英訳あり)
- (4) サンビセンテデパウル大学病院
 - 1) “ *Mi futuro y el del Hospital están bien planeados* ”, Hospital Universitario San Vicente de Paúl

2) “*Guía del Paciente y su Familia*”, Hospital Universitario San Vicente de Paúl (点字図書)

(5) フンダシオンイデア

- 1) Fundación Ideal para la Rehabilitación Integral “Julio H. Calonje 施設紹介CD
- 2) “*Rehabilitación Basada en la Comunidad; Rodolfo Millán Muñoz*”, *Serie documentos de trabajo No.1, agosto 2000*
- 3) “*Componente Redes de Apoyo Social, Modulo No.1: Proyecto Asistencia Integral a las Personas en condición de discapacidad en el Municipio de Santiago de Cali*” Reconceptualización de la habilitación / rehabilitación integral, Alcaldía de Santiago de Cali, Secretaría de Desarrollo Territorial y Bienestar Social
- 4) “*Programa de Rehabilitación con participación comunitaria amazonas – Colombia*”, Fundación Ideal para la Rehabilitación Integral “Julio H. Calonje”, Secretaria de Salud Departamental del Amazonas

(6) 国家職業訓練庁(SENA)

- 1) Portofolio of Services: SENA -2007 (PPT)

(7) コロンビア総合リハビリセンター(CIREC)

- 1) “*Semillas de Esperanza: Quien siembra cosecha esperanza: Integración Social y Asistencia a Víctimas*”, *Centro Integral de Rehabilitación de Colombia*
- 2) “*Opción Vida: Edición 2- Año 2007*”, *Centro Integral de Rehabilitación de Colombia*
- 3) “*Un paso adelante, ¡Darlo será más fácil con su apoyo!*”, *Centro Integral de Rehabilitación de Colombia*

(8) ハンディキャップインターナショナル (HI)、2008年2月

- 1) “*Minas Antipersonal en Colombia: El camino hacia la rehabilitación e inclusión social, Análisis, marco jurídico vigente y recomendaciones*”, Handicap International
- 2) “*Síntesis de la Experiencia Rehabilitación Basada en la Comunidad – RBC-: Handicap Internatinoal Colombia 2004-2007*”, Handicap International

(9) 国家管理統計局(DANE)

- 1) “*Boletín sobre discapacidad: Foro Anual, Así vamos en salud deliberó sobre la situación de la discapacidad en Colombia*”, DANE, Octubre 2007
- 2) “*Boletín de Censo General 2005 Discapacidad-Colombia Actualización : Personas con limitaciones permanentes, DANE*”
- 3) “*Registro Para la Localización y Caracterización de las Personas con Discapacidad, Informe de Avance*”, September 2007

(10) 欧州連合(EU)

以下の支援事業概要書:

- 1) Fortalecimiento Institucional de La capacidad nacional Colombiana de Acción Contra Minas
- 2) Asistencia a víctimas civiles de accidentes de Minas Antipersonal y Municiones Sin Explotar (MAP y MUSE) en Colombia
- 3) Educación en el riesgo (ERM) de la población vulnerable y Atención a las víctimas de minas antipersonal y municiones sin explotar en el sur de Colombia.
- 4) Institucionalización y sostenibilidad de la educación riesgo de minas y la atención biopsicosocial a víctimas de MAP y MUSE, a través de educadores y personal de salud en municipios prioritarios del Departamento de Antioquia

(11) メデジン私立総合病院

"HGM, Hospital General de Medellín: Luz Castro de Gutiérrez", Empresa Social del Estado, 2006

III. 参考資料

- (1) 「対コロンビア国・国別実施計画」平成 19 年 4 月 国際協力機構
- (2) 「コロンビアにおける障害関連情報」平成 19 年 4 月 国際協力機構
- (3) 「課題別指針・障害者支援」平成 15 年 10 月 国際協力機構
- (4) 「平和構築アセスメント・コロンビア国(PNA)」平成 20 年 1 月 国際協力機構
- (5) 「国別データブック(2006 年実績)」2007 年 11 月 外務省
- (6) 'Plan Nacional de Desarrollo 2006-2010', Republic of Colombia, January 2007